

ドラッグ+マジ

わが国では、毎年5000人ほどのAYA世代ががんになっています。人生において大きな変化のある、この世代。高齢者がんとは分けて考えるべき社会的課題が多くあるのではないかと感じます。私は抗がん剤治療をはじめ、多くの薬の「やめどき」を提唱する医者ですが、それはあくまで主に高齢者に向けてのお話です。AYA世代のがんは、発見されたときにはかなり



63 中尾翔太



決して「諦めないで」

進行しているケースが多く、また進行スピードも早いのです。私の患者さんでも、やめどきを考える時間もないまま旅立たれた若者が何人かいました。しかし若い分、がんと闘える気力も体力も高齢者とは桁違いであり、奇跡を起こせるのも事実。「諦めないで」という言葉を、AYA世代の人にこそ伝えていきたいです。

EXILE系列の、9人の若

胃がんの約1割がスキルス胃がんです。スキルスは「硬い」という意味。がんの塊ができるのではなく、胃袋を貫くように増殖していくことが特徴です。また胃粘膜の下をはうように浸潤していくため胃が硬くなり、通常の胃がんと同様に胃が痛い、食欲が落ちた、痩せた、胸やけするという人はためらわずに専門医による検査を

7月14日の野外音楽イベントで、FANTASTICSは中尾さんの死後、初のステージに立ちました。「皆さんの目に見えるのは8人かもしれないが、9人感じてもらえるように、翔太の魂や気合！しっかり見せていきたい」とリーダーの世界さんが宣言。中尾さんの魂は仲間とともにステージに再び上がったのです。これも一つの、復活の形ではないでしょうか。

長尾和宏（ながお・かずひろ）医学博士。東京医大卒業後、大阪第二内科入局。1995年、大阪府長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。近著「薬のやめどき」「痛くない死に方」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。

きダンスグループ「FANTASTICS」の中尾翔太さんが今月6日に亡くなりました。22歳、胃がんでした。2000人以上を看取ってきた私ですが、若い人の訃報に慣れることはなく、しばし言葉を失います。中尾さんが体調不良を訴えたのは、昨年末。そして今年3月、活動休止を発表します。それからわずか4カ月。詳しい報道はされていませんが、スキルス胃がんだったのではと想像します。

内視鏡検査で鳥肌胃炎と診断された人は、胃がんリスクが高いことがわかっています。ゼヒピロリ菌の除菌治療を受けてください。中尾さんもがんが見つかった時には、かなり進行した状態だったと想像しますが、彼は決してあきらめませんでした。最後のブログ更新は4月27日。「これからもうくじけずに必ず勝ちます。完全復活待っていてください」と前向きな言葉で締められています。